

(別紙様式1)

令和8年度 学校評価計画書

学校名

三田市立本庄小学校

1 学校教育目標

本気で学ぶ 丈夫で 心豊かな 本庄っ子の育成

2 今年度の学校重点目標

- ① 自ら問いを持ち、対話を通してよりよい解決を図ろうとする態度と自ら学びを進める力の育成を図る。
- ② 人間としてよりよく生きるための基本的な心構えや行動の仕方について学ばせ、道徳教育の充実を図る。
- ③ 人権感覚の涵養を基盤に、人権課題を解決しようとする意欲を育む。
- ④ 児童の想像力、表現力を豊かにする読書活動を推進する。
- ⑤ 望ましい集団生活を通し、主体性を高める特別活動の推進を図る。
- ⑥ 児童の実態把握と共通理解に努め、特別支援教育を推進する。
- ⑦ 児童理解の深化を図り、生徒指導の充実に努める。
- ⑧ 体験活動を重視し、地域と連携した環境教育・ふるさと学習・伝統や文化に関する教育を推進する。
- ⑨ 学校・家庭・地域が一体となり、防災安全教育を推進する。
- ⑩ 国際理解教育の推進を図る。
- ⑪ 勤務時間の適正化に取り組み、ワーク・ライフ・バランスを推進する。

3 自己評価項目

分野・領域	評価項目（取組内容）
保護者、地域との連携	保護者や地域の方の声を積極的に聞くとともに、ICT機器を活用した授業や対話を位置づけた授業など、児童が主体的に学ぶ姿を発信する。
	『本庄っ子のやくそく』や『本庄っ子学びの応援団』、『保幼・小中連携プラン』をもとに家庭と連携したより良い生活習慣・学習習慣の確立を図る。
教育課程 学習指導	すべての教育活動を通し、自ら問いを持ち、対話を通してよりよい解決を図る力の育成を図る。
	生活科・総合的な学習の時間を中心に、米や黒豆、うどん作りなど、地域の教育資源を積極的に活用した探究的な教育活動を推進する。
人権教育 特別支援教育	対話を位置づけた授業や伝え合おう朝会における「伝え合おうトーク」、全校道徳などを通して、自己の思いや考えを伝えたり、互いの良さを認め合ったりする場の充実を図り、児童の自尊感情を育んでいく。

(別紙様式1)

	心のアンケートを年2回開催し、児童の内面理解を図る。
	児童理解のための情報共有の機会を充実させ、児童の成長を支える支援を推進する。
研修・研究	「主体的に学び、対話を通して考えを深める児童の育成」を推進し、研究テーマに則した授業改善に取り組む。
いじめ防止	生徒指導提要、いじめ防止基本方針に則り、組織的な生徒指導に取り組むとともに、地域・保護者と連携を図りながら、児童の健全な人間関係構築に向けた教育活動を実践する。